

総合戦略推進会議の進め方について

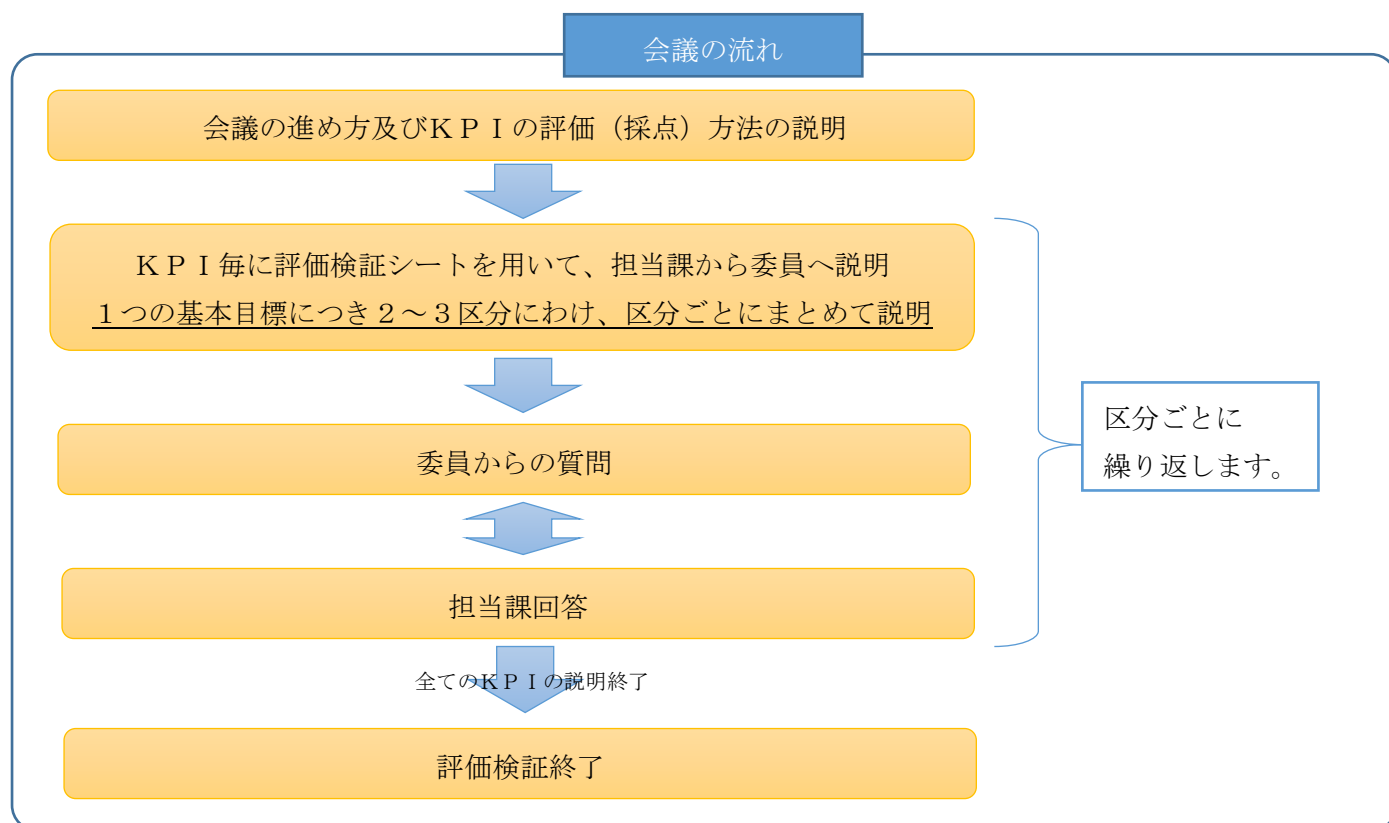
1. 会議の開催について

本年度も昨年度と同様、会議を基本目標ごとに2日に分けて開催します。開催日ごとの評価項目は次のとおりです。

- (1) 令和元年7月10日（水）：基本目標1及び2について
- (2) 令和元年7月17日（水）：基本目標3及び4、地方創生推進交付金活用事業、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業について

2. 会議の進め方について

(1) 会議全体の進め方について



(2) 担当課からの説明について

会議を効率的に進行させるため、担当課からは要点のみの説明となります。資料2のKPI評価シートにおける説明事項は次のとおりとなりますので、御了承願います。

- 説明事項：① ページ番号及び重要業績評価指標（KPI）
- ② 今年度のKPI目標・実績及びKPI達成率
 - ③ 担当課評価、平成30年度の取組・工夫
 - ④ 令和元年度の取組・工夫

(3) 質問方法について

時間の都合上、質問をできなかった場合は、資料5の委員意見記載シートに御記入ください。

3. K P I の評価検証方法について

担当課評価及び委員評価の基準については、次のとおりとなります。

(1) 担当課評価について

担当課評価		
A	順調	目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。
B	概ね順調	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C	やや遅れている	目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D	遅れている	目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

※なお、A～Dの基準は必ずしも当てはまるものではなく、理由があり、担当課評価を変更している場合は、個別で評価シートに記載しております。

※担当課評価（A～D）は平成30年度の目標に対する実績に基づいて評価しており、K P I 達成率欄には最終目標に対する達成率を記載しております。

(2) 委員評価について

改善案を示した形で評価を行うため、事業実績やK P I の内容と改善案について個別に三段階評価を行い、それぞれの評価から総合評価を算出します。なお、事業が目標以上となっており、改善案が特にない事業については、効果をより一層高めるための工夫点を担当課が記載しております。

三段階評価の基準は次のとおりとなりますので、◎、○、×の三段階で評価してください。

【評価基準】

評価	事業実績	改善案・工夫点
◎	目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。	改善案もしくは工夫点について非常に評価できる。
○	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。	改善案もしくは工夫点について評価できる。
×	目標を下回っており、要因の分析と事業内容の見直しを要する。	改善案もしくは工夫点について見直すべきである。

総合評価の算出方法は次のとおりとなります。

【総合評価算出表】

事業実績／改善案	◎	○	×
◎	A	A	B
○	A	B	C
×	B	C	D

(3) 委員評価シートについて

委員評価には資料4の委員評価シートを使用いたします。各KPIの右に評価欄を設けておりますので、前述のとおり、◎、○、×の三段階で評価してください。

【評価シート記載例】

NO.	目標	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度	H28目標	H28実績	担当課及び評価	委員評価		
								事業評価	改善点・工夫点	
1	(ア)居住環境の整備	①被災者の居住環境の整備	新市街地整備事業完成率	100%	92.5%	92.5%	区画整理第1課	A	◎	×
2			防災集団移転促進事業完成率	100%	92.5%	83.1%	集団移転推進課	B		
3			土地区画整理事業完成率 既成市街地 住居系	100%	88.4%	67.6%	区画整理第2課	C		
4			復興公営住宅完成率	100%	84.4%	78.1%	復興住宅課	B		
5			民間発事業	100%	100%		整備課			

2箇所評価 (◎、○、×) を記載

記載例の場合、評価は事業評価：◎ 改善点・工夫点：×
の組み合わせなので、総合評価はB